

50th M.ODA
第50回記念
織田幹雄記念国際陸上競技大会



写真提供/海田町

吾界人と成るべし

“国際人”というのは、自分が日本人であり、外国人に対するという意識が抜け切れていないということ。
“世界人”とは、もっともっと人と人との対等な関係を大切に、国という枠組みを超えた意識であること。

織田幹雄さん経歴

広島県名誉県民、広島市名誉市民、海田町名誉町民、文化功労者（スポーツ）

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1905 (明治36年) 3月30日 広島県安芸郡海田町に生まれる。 | 三段跳で優勝。 |
| 1918 (大正7年) 広島県立第一中学校 (現広島国体寺高等学校) に入学。 | 日本人初のオリンピック金メダル獲得。 |
| 1922 (大正11年) 走り高跳で日本新記録を樹立。 | 三段跳の呼び名を命名。 |
| 1923 (大正12年) 走り高跳、三段跳で日本新記録を樹立。 | 三段跳で15m58の世界新記録を樹立。 |
| 1924 (大正13年) 第8回オリンピック・パリ大会に出場。 | 第18回オリンピック・東京大会では
陸上チームの総監督として活躍。 |
| 三段跳で6位入賞。 | 第1回織田記念陸上競技大会創設。 |
| この年、十種競技でも日本新記録を樹立。 | 1967 (昭和42年) 12月2日 永眠、享年93歳。 |
| 1928 (昭和3年) 第9回オリンピック・アムステルダム大会に出場。 | |



○ 切手と写真部分を新装版に貼って、ご利用いただけます。
○ 写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
○ 郵便料を納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。